

同時発表：中部経済産業記者会、金沢経済記者クラブ、富山経済記者倶楽部

令和6年8月21日

なりわい再建支援補助金の活用事例を取りまとめました

中部経済産業局では、令和6年能登半島地震により大きな被害を受けた地域のうち石川県・富山県を対象になりわい再建支援補助金を活用し、被災した中小企業等が行う施設・設備の復旧を支援しています。被災地域の早期復興を目指し、対象地域の方々に本事業への理解を深めて頂くことを目的とし、本補助金の活用事例を取りまとめました。本補助金を活用される事業者の皆様の御参考になれば幸いです。

御紹介させていただく事例は、今後も追加していく予定です。

○石川県

- ・ cake shop Candy Apple (白山市)
- ・ 株式会社 白山 (志賀町)
- ・ 株式会社 四恩 (能登町)
- ・ 合名会社 堂野石材店 (能登町)
- ・ 能登塩業組合 株式会社 (能登町)

○富山県

- ・ 第一薬品工業 株式会社 (富山市)
- ・ 株式会社 源 (富山市)
- ・ ライフケア技研 株式会社 (富山市)

活用事例 掲載 URL

https://www.chubu.meti.go.jp/c14noto_2024/nariwai/zireisyu/nariwai_zireisyu.html

(お問合せ先)

中部経済産業局 産業部 産業振興課 復興推進室 北野

担当：市川

電話：052-951-0598 (直通)

メール：bz1-hukkousuishin_chubu@meti.go.jp



なりわい再建支援補助金の活用事例

cake shop Candy Apple (石川県白山市)

<補助金活用のポイント>不明な点を自らWEB情報検索と相談窓口を活用して解決



店舗外観



看板メニューのアップルパイ



シュガークラフト



被災した外壁



修繕後

会社概要

- 住所 石川県白山市横江町63番地
- 連絡先 076-287-3622
- 代表 松本 和哉
- 事業内容 洋菓子の製造・販売
- 自社のPRポイント
金沢の有名洋菓子パティシエを経て2019年11月にオープン。独学で始めたシュガークラフトは、ジャパンケーキショーで受賞歴あり。

被災時及び復旧後の状況

- 店舗は築100年以上の蔵をリノベーションしてオープン。能登半島地震で外壁の土壁の一部に被害が出たため震災後すぐの1月に地元工事業者に修繕を依頼したところ、業者繁忙のため時間を要しましたが4月に修繕を終えました。
- 建物内部の柱にも歪みが出ましたが、修繕は不要の判断があり、正月明けから通常営業しています。

なりわい再建支援補助金を活用した経緯

- 地元商工会議所に活用できる補助金について相談し、なりわい再建支援補助金を知りました。県主催の補助金説明会は店舗営業日のため会場参加できませんでしたが、オンライン配信で聴講することができました。
- 補助金利用は初めてだったため、申請書類の記載や添付書類の取得に苦労しましたが、自らインターネット検索で調べたり、金沢事業者支援センターに直接電話で相談をして申請にこぎつけることができました。

事業者からのメッセージ

- 初めは補助金関係の用語がわからず申請できるか不安でしたが、補助金交付いただいたことで大変勉強になりました。
- 苦労しながらも申請に至った経緯は、地元商工会議所に伺った際にお話をさせていただきたいと思いますし、今後は他の補助金の活用も検討していきます。



なりわい再建支援補助金の活用事例

株式会社 白山 (石川工場) (石川県羽咋郡志賀町)

<補助金活用のポイント>なりわい再建支援補助金の活用により早期事業再開を実現



事業所 (石川工場)



被災時 (左:工場棟、右:食堂)



修繕後 (左:工場棟、右:食堂)

会社概要

- 住所 石川県羽咋郡志賀町若葉台47-11
- 連絡先 0768-38-1233
- 代表 米川 達也
- 事業内容 情報通信機械器具製造業
- 自社のPRポイント
創業当初は保安器の製造に始まり、光通信の発展に伴い地道に開発を重ね、今では主力製品の「MTフェュール」が世界シェアNo.2を達成しています。

なりわい再建支援補助金を活用した経緯

- 補助金は1月下旬の説明会を聴講し活用を検討しました。遡及適用により、被災直後から着手していた復旧計画をそのまま進めることができたため、2月に申請、3月に交付決定を受け、4月には復旧事業完了となりました。
- 申請書類については、金沢事業者支援センターにて相談対応していただき不明点を解消しながら必要書類を集め、相談窓口にて申請書類のチェックをしてもらい提出に至りました。

事業者からのメッセージ

- 被災により当社が供給不能に陥ることで一番困るのはお客様です。BCPに従い代替戦略をとることで最低限必要な生産機能を維持しながら復旧工事を行ったこと、社員が一丸となり被災状況の把握と必要な措置を講じたことにより、短い期間で完全復旧し、被害を最小限にとどめたと考えます。早期復旧に対する支援をいただけたこと大変助かりました。

なりわい再建支援補助金の活用事例

株式会社 四恩（株式会社 西中建設）（石川県鳳珠郡能登町）

<補助金活用のポイント>商工会への相談を通じた助言により最適な補助金を活用



施工事例



施工事例



被災前の建設機械



入替後の建設機械

会社概要

- 住所 石川県鳳珠郡能登町字松波29-78-2
- 連絡先 0768-72-1100
- 代表取締役 西中 順治
- 事業内容 建設業
- 自社のPRポイント
誠実と技術をもって事にあたり、建設を通じ社会に貢献いたします。

被災時及び復旧後の状況

- お客様から海の近くにある土地を埋め立てて畑にしたいとの工事依頼があり、昨年末に工事のため現場に駐機していたところ、地震による津波で建設機械が海水に浸かり使用できなくなりました。
- 震災復旧の工事依頼が入るなか、建機メーカーが被災地域向けに優先供給してくれたため、発注してから早期に納入してもらうことができました。

なりわい再建支援補助金を活用した経緯

- 協力会社が持続化補助金を活用していたため、当社も持続化補助金を活用しようと考え、商工会に派遣されていた専門家に相談したところ、なりわい再建支援補助金を勧められたことが活用のきっかけです。
- 補助金は、過去にIT導入補助金を申請したことがあったため、ある程度の相場観はありました。申請書類は商工会にチェックしてもらい、その後、のと里山空港の相談窓口にも行って再チェックしてもらいました。

事業者からのメッセージ

- 復旧工事が本格化していくなかで、早急に設備を入れ替える必要がありましたが、補助金を活用することができたため大変助かりました。
- 補助金申請書類は、商工会に写しを渡しており、今後申請を予定する他事業者の申請の参考に活用してもらって差し支えないとなっています。被災した事業者には本補助金も活用し、早期復旧されることを祈念しています。

なりわい再建支援補助金の活用事例

合名会社 堂野石材店（石川県鳳珠郡能登町）

<補助金活用のポイント>金融機関の情報提供・伴走支援により早期に交付決定



事業所



被災前の設備



入替後の設備

会社概要

- 住所 石川県鳳珠郡能登町字藤ノ瀬ヨ字21-1
- 連絡先 0768-62-2261
- 代表 堂野 和章
- 事業内容 墓石製造・販売業
- 自社のPRポイント
特に墓石修繕に力を入れ、能登地区のみならず、金沢地区等も含め県内の幅広い地域における人脈を活かした受注により事業を実施しています。

被災時及び復旧後の状況

- 墓石運搬設備(カニクレーン)が瓦礫の下敷きとなり起動不能となりました。県内全域から震災での墓石倒壊被害復旧のための修繕依頼が相次ぎ、事業の継続にあたり早急に復旧が必要とされる状況でした。
- 全国から設備需要が急増し入手困難になるなか、交付決定前に注文して設備を調達できたことから早期に稼働することができます。

なりわい再建支援補助金を活用した経緯

- 補助金の存在自体は、顧問税理士から教えてもらいましたが、具体的に申請を進めるきっかけとなったのは取引金融機関から説明会参加の声掛けをしてもらったことでした。その後は金融機関担当者が能登事業者支援センターにも一緒に同行して伴走支援をしていただきました。
- 申請書類は、必要書類を自身で集めて、ある程度できた段階で金融機関担当者にチェックしてもらい提出に至りました。

事業者からのメッセージ

- 取引金融機関は、震災対応の専門部署を設けて事業者支援を行っていただいていること、非常に頼りになりました。
- 倒壊した墓石は、できるだけ早期に元に戻してあげたいと考え、代表と従業員が総出で毎日現場作業をしています。カニクレーンがなければ、こうした作業も一切できなかつたためなりわい再建支援補助金での支援には大変感謝しています。

なりわい再建支援補助金の活用事例

能登塩業組合 株式会社（石川県鳳珠郡能登町）

＜補助金活用のポイント＞県庁の相談窓口を活用して自ら申請書を作成



会社全景



釜揚げ



被災した塩田



修繕後

会社概要

- 住所 石川県鳳珠郡能登町四方山2-1
- 連絡先 0768-72-0105
- 代表取締役社長 林 義雄
- 事業内容 塩の製造・販売
- 自社のPRポイント
能登の海水を、昔ながらの製法で砂の表面に撒き、太陽と潮風で乾燥させ丹念に炊き上げた、後味まろやかな旨みが特徴の海塩を製造・販売しています。

被災時及び復旧後の状況

- 津波により塩田に撒いた砂や敷設したシートが流されたほか、外壁が破損して海水が建物内に流入。また、掘れにより塩水を貯蔵するためのタンクや塩水を炊くための釜の周りのコンクリートや土台のブロックなどが破損しました。
- 建物は自ら復旧し、被災した設備も早期に修繕を完了し、3月には製造を再開させました。

なりわい再建支援補助金を活用した経緯

- グループ会社である食品スーパーの復旧に関して地元自治体とやりとりするなかで存在を知ったのが本補助金を活用したきっかけです。
- 申請書は支援機関を頼らず、わからない点は県庁の窓口に確認しつつ自ら作成しました。これまで補助金の申請は何度か経験していますが、本補助金の申請書自体は他の補助金と比較して作文が少なく簡単なものでしたので自らで十分作成できる内容でした。

事業者からのメッセージ

- 伝統ある能登の製塩業に支援いただき大変助かりました。
- 当社は他の補助金申請経験がありますが、本補助金の申請書自体は内容説明を作文する部分が少なく、わからないことを都度、県庁の窓口に相談していくれば申請までたどり着けると考えます。



なりわい再建支援補助金の活用事例

第一薬品工業 株式会社（富山県富山市）

＜補助金活用のポイント＞サプライチェーン維持のため、補助金活用により早期復旧



本社・工場外観



各種医薬品



被災した分析機器



修繕後

会社概要

○住所 富山県富山市草島15番1
 ○連絡先 076-435-0755
 ○代表 坂田 雅彦
 ○事業内容 医薬品、医薬部外品、化粧品等の製造・販売
 ○自社のPRポイント
 医薬品等の製造販売を通じ、多くの人々の健康づくりを支えています。オリジナルの医薬品だけでなく受託製造も手掛けしており、富山から全国へ多くの製品を届けています。

被災時及び復旧後の状況

○能登半島地震により、医薬品の分析試験に必要な機器である粉碎機と定温乾燥機が被災し、使用不能になりました。
 ○地域の医薬品の安定供給を維持すべく、1月2日に現地調査、3日には修繕の発注対応を行うなど、早期復旧に努めました。
 ○なりわい再建支援補助金（事前着手制度）を活用し被災した設備の入替を行い、事業を継続することができました。

なりわい再建支援補助金を活用した経緯

○発災直後から情報収集を積極的に行う中で、なりわい再建支援補助金を知りました。県相談窓口への電話相談や説明会で、既に復旧済みの設備についても補助対象となり得る「事前着手制度」を知り、申請させていただきました。
 ○申請にあたっては、WEBで最新情報を確認しながら準備を進めました。公募開始直後ということで運用変更等もあり少々戸惑いましたが、電話相談も活用し、不明点や疑問点を一つ一つ解決しながら申請に至ることができました。

事業者からのメッセージ



○なりわい再建支援補助金を活用し、サプライチェーン維持の観点で、早期復旧に取り組むことができ、大変感謝しています。

○今後も「富山のくすり」ブランドの一端を担い、医薬品業界のサプライチェーンを支え、より多くの人々の健康づくりを支援していきます。

なりわい再建支援補助金の活用事例

株式会社 源（富山県富山市）

＜補助金活用のポイント＞アンテナ高く情報収集し、相談窓口を積極活用して解決



店舗外観



富山名産ますのすし



ますのすしミュージアム売店



被災した食事処



修繕後

会社概要

○住所 富山県富山市南央町37-6
 ○連絡先 076-429-3322
 ○代表 四谷 英久
 ○事業内容 ますのすしを中心とする各種駅弁等の製造販売、及びますのすしミュージアムの運営並びに外食事業を展開。
 ○自社のPRポイント
 明治45年に富山名産「ますのすし」を販売以来、その名を全国に普及させ、富山の新しい食文化を創造し続けています。

被災時及び復旧後の状況

○能登半島地震により、店舗や生産設備に影響はありませんでしたが、ますのすしミュージアム（食事処）や工場内のガラスの破損、給水管の損傷等の被害が生じました。ただし1月3日の朝には仮復旧して営業を再開しました。
 ○本格的な復旧にあたり、補助金を活用しました。
 ○その他、物流停止による商品や原材料のロスや観光客の減少による間接被害も大きな打撃となりました。

なりわい再建支援補助金を活用した経緯

○能登半島地震の復旧に活用できる補助金はないか？と情報収集を行っていた際に、なりわい再建支援補助金を知りました。そこで富山県の「被災事業者復旧等支援窓口」に電話相談を行い、補助金説明会にも参加しました。
 ○証憑書類の種類が多かったほか（初めての公募開始直後だったため）様式の変更等もあり、申請書類の準備には大変苦労しましたが、対面相談を活用し、不明点や疑問点を一つ一つ解決しながら申請に至ることができました。

事業者からのメッセージ



○なりわい再建支援補助金を活用させていただくことで、営業活動の復旧に前向きに取り組め、迅速に対応することができました。

○当初は様々な不安がありました。同じように不安を抱える方々に対し、経験やノウハウを伝える協力もできればと考えております。
 ○今後も震災復興に貢献していきます。

なりわい再建支援補助金の活用事例

ライフケア技研 株式会社（富山県富山市）

<補助金活用のポイント>中部経済産業局の相談・フォローにより解決



本社・工場外観



アルコール体質試験パッチ



被災した内壁

修繕後

会社概要

- 住所 富山県富山市問屋町2-4-15
- 連絡先 076-411-0201
- 代表 横井 秀輔
- 事業内容 ヘルスケア関連製品の研究開発・製造・販売。
- 自社のPRポイント
シール状の製品を皮膚に貼るだけで、簡単に体質や体調、ストレス度などを判断できる機能性パッチ（商品ブランド「パチェック」）を開発、販売。メディア掲載多数。

被災時及び復旧後の状況

- ヘルスケア関連の研究開発型ベンチャーとして1997年に設立。「アルコール体質試験パッチ」をはじめ、様々な機能性パッチを開発し販売しています。能登半島地震により、本社建物の内壁の欠損や亀裂が生じました。
- 被災後も事業は継続できていましたが、社員の安心・安全の確保の観点から補助金を活用して、4月の1か月間で迅速に修繕し、工事を完了しました。

なりわい再建支援補助金を活用した経緯

- 商工会議所主催の補助金説明会にオンライン参加したものの、当社が活用可能か否かの判断に迷っていた。
- 後日、中部経済産業局の被害調査に協力した際、補助対象になるとの助言を受け、その後担当者を繋いでいただき、利用上の注意点や添付書類等の丁寧な案内を受けました。
- 多種ある添付書類の準備には苦労しましたが、不明な点は中部経済産業局の担当者と随時電話・メールで確認させていただき、申請にこぎつけることができました。

事業者からのメッセージ

- 行政の調査をきっかけに有益な情報提供をいただくことができた経験を踏まえ、今後も可能な限り協力するとともに、常にアンテナを高く持つことが重要と再認識しました。
- 震災復興の一助を担えるよう、身近な支援機関の協力も得ながら、これまで以上に販路拡大や新事業展開に取り組みたいと思います。

